

研究討論会

未来の土木技術に貢献する建設用ロボットのあり方について

ー 災害対応から学ぶ建設用ロボットがフィールドで活躍するための条件とは ー

建設用ロボットとは、

建設機械に何らかの自動制御，または遠隔制御の機能を付加することにより，

効率，施工性，精度，安全性 などの性能の向上を可能にした機械．

建設用ロボット委員会

1985年 設立

建設分野における施工技術のシステム化・自動化・省力化およびロボット化についての 研究に取り組む。

小委員会

戦略企画小委員会

土木技術小委員会

海洋技術小委員会

ライフライン技術小委員会

大深度地下小委員会

次世代施工技術小委員会

建設用ロボット委員会・研究討論会



1. 基調講演 浅間 一 先生（東京大学・日本ロボット学会副会長）
「福島原発事故対応で求められるロボット技術・遠隔操作技術」
2. 小委員会活動の紹介
3. 建設用ロボット技術による災害対応および復旧・復興支援に向けた委員会提言の説明
4. 招待パネリストからのコメント
5. 今後の建設用ロボット技術およびロボット化施工をより発展させるための方策に関する総合ディスカッション

パネリストの紹介

パネリスト

浅間 一 教授（東京大学・日本ロボット学会副会長）

高橋 弘 教授（東北大学・日本建設機械施工協会東北支部長）

山元 弘 室長（国交省総合政策局公共事業企画調整課）

並川 賢治 小委員長（ライフライン小委員会・首都高速道路(株)）

泉 信也 小委員長（海洋技術小委員会・東亜建設工業(株)）

北原 成郎 小委員長（土木技術小委員会・(株)熊谷組）

大井 隆資 小委員長（大深度地下小委員会・(株)フジタ）

座長

建山 和由 委員長（建設用ロボット委員会・立命館大学）